

本章では、平成16年10月における食肉販売店の食肉部門の仕入量を調査し、肉種・品種別・仕入形態別の動向を分析した。尚、各仕入量は小売分のみとし、卸売分は除いている。

要 約

- 食肉の仕入構成の全店平均は、牛肉：23.9%、豚肉：49.5%、鶏肉：26.6%。「専門店」は他の業態に比べ「牛肉」の仕入構成比が高い。前回調査に比べると、「スーパー」で「牛肉」の構成比が低下、「豚肉」の比率が上昇している。地域別にみると、東海以北で「豚肉」の仕入量が5割以上、近畿・四国・中国は「牛肉」、九州・沖縄では「鶏肉」が4割前後を占める。
- 「牛肉」の品種別の仕入構成比は、「和牛肉：35.3%」「オーストラリア産牛肉：26.6%」の順で多い。前回調査と比べると「和牛肉」の比率が大きく減少し、「オーストラリア産牛肉」が大幅に増加した。仕入形態別の仕入量は、「和牛肉」は「枝肉」、他の品種は「部分肉パーツ」または「部分セット」が多い。
- 「豚肉」の仕入構成比は、「国産豚肉（87.3%）」が中心であり、「輸入豚肉（12.7%）」の仕入は少ない。前回調査と比べても、この比率に大きな変化はない。「国産豚肉」約4割、「輸入豚肉」は7割近くが「部分肉パーツ」での仕入ある。
- 「鶏肉」の仕入構成比は、「国産鶏肉」が92.5%を占める。前回調査時よりさらに「国産鶏肉」の比率が高まった。

1. 食肉の肉種別の仕入構成と仕入量(10月分)

(1)肉種別の仕入構成と仕入量

全店平均の肉種別仕入構成比は、「牛肉：23.9%、豚肉：49.5%、鶏肉：26.6%」。前回調査と比較すると、「スーパー」で「牛肉」の比率が低下

平成16年10月1ヶ月間の1店当りの食肉仕入量^(*)は3,282.4kgで、そのうち「豚肉」が49.5%と最も多くを占める(図2-1)。「牛肉」は23.9%、「鶏肉」は26.6%である。

業態別の仕入構成比をみると、いずれも「豚肉」が最も多くを占めているが、「専門店」は「牛肉(37.1%)」の比率が高く、「鶏肉(15.7%)」が少ない。「スーパー」は、「豚肉」が50.6%と他の業態より多くを占め、「鶏肉」が29.4%、「牛肉」が20.0%で、他の業態より「牛肉」の比率が低い。「生協・農協」は「豚肉」が46.5%、「鶏肉」が28.1%「牛肉」が25.3%である。

また、1店当りの食肉仕入量は、「専門店」が1,134kg、「スーパー」が6,552kg、「生協・農協」が4,002kgとなっている(図2-2)。

(*)牛肉、豚肉、鶏肉のいずれかの食肉を仕入れた店舗523店の平均値

図2-1:肉種別 / 仕入構成比(10月分)

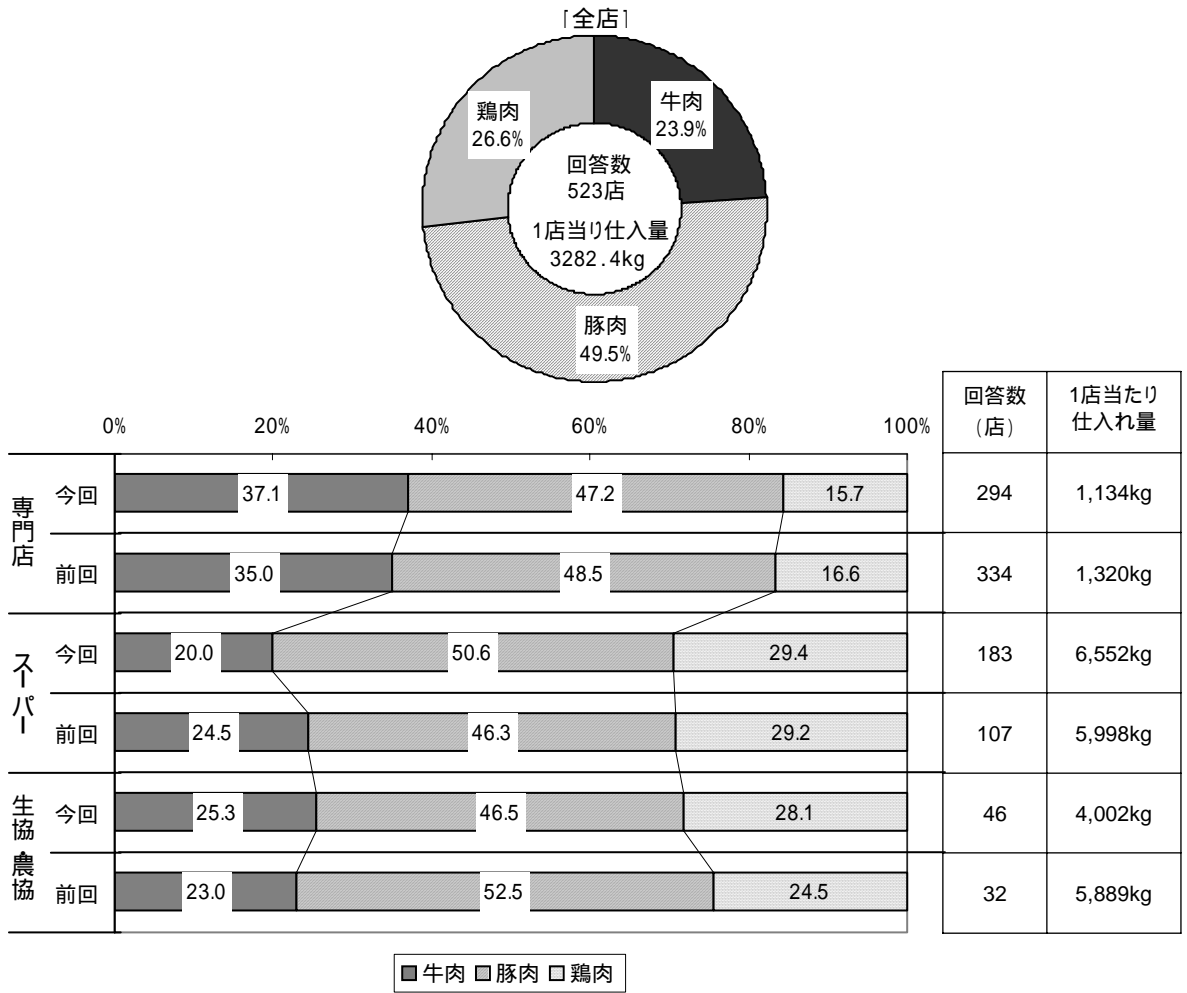
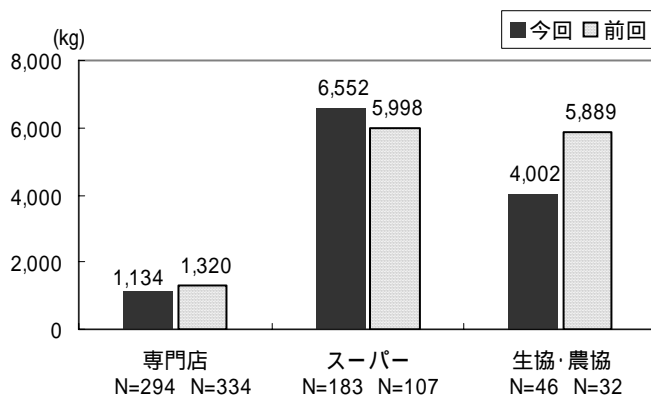


図2-2: 1店当りの食肉仕入量(10月分)



[前回調査との比較]

業態別の仕入構成比を前回調査と比較すると、全体的に大きな変化はみられないが、「スーパー」で「牛肉」の比率が低下（4.5ポイント）し、「豚肉」が増加（+4.3ポイント）している。1店当たりの食肉仕入れ量は、「スーパー」のみで増加となっている。

仕入量は、東海以北で「豚肉」が5割以上、近畿・四国・中国は「牛肉」、九州・沖縄は「鶏肉」が4割前後を占める

地域別の肉種別仕入構成をみると(図2-4)、「北海道」「東北」では「豚肉」の構成比が6割以上と高く、「牛肉」の比率が低い。

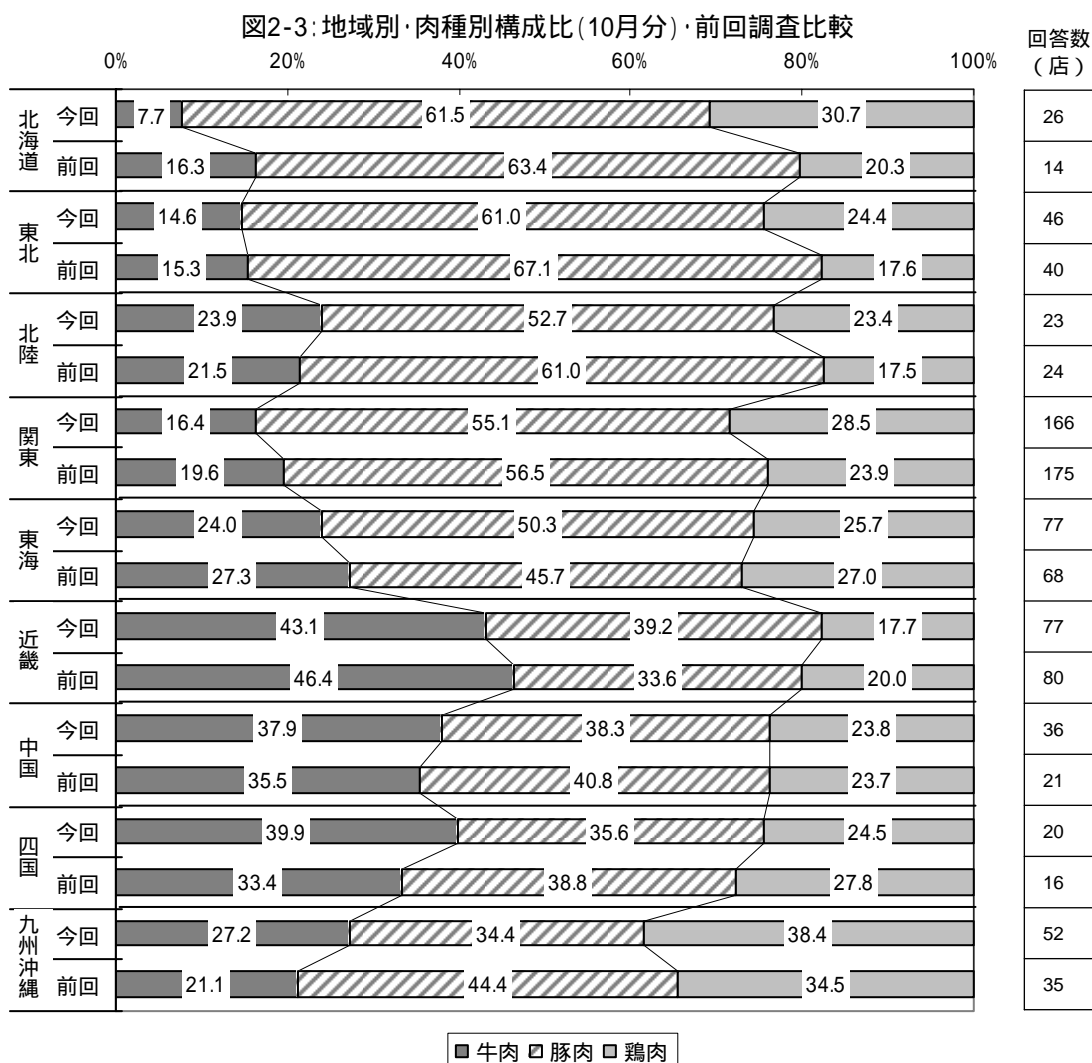
「北陸」「関東」「東海」も「豚肉」の構成比が高く5割以上を占める。「北陸」は「豚肉」が52.7%、「牛肉」が23.9%、「鶏肉」が23.4%、「関東」は「豚肉」が55.1%、「鶏肉」が28.5%、「牛肉」が16.4%であり、「牛肉」より「鶏肉」の仕入量が多い。「東海」は、「豚肉」が50.3%「牛肉」「鶏肉」がそれぞれ24~26%程である。

「近畿」「四国」は、「牛肉」の比率が「豚肉」を上回り、4割前後を占める。「中国」も「牛肉」が約38%と比較的多くを占めている。また、「近畿」は「鶏肉」の比率が低く、唯一20%を下回っている。

「九州・沖縄」では、「鶏肉」が38.4%と最も高く、「豚肉」が34.4%、「牛肉」が27.2%という構成となっている。

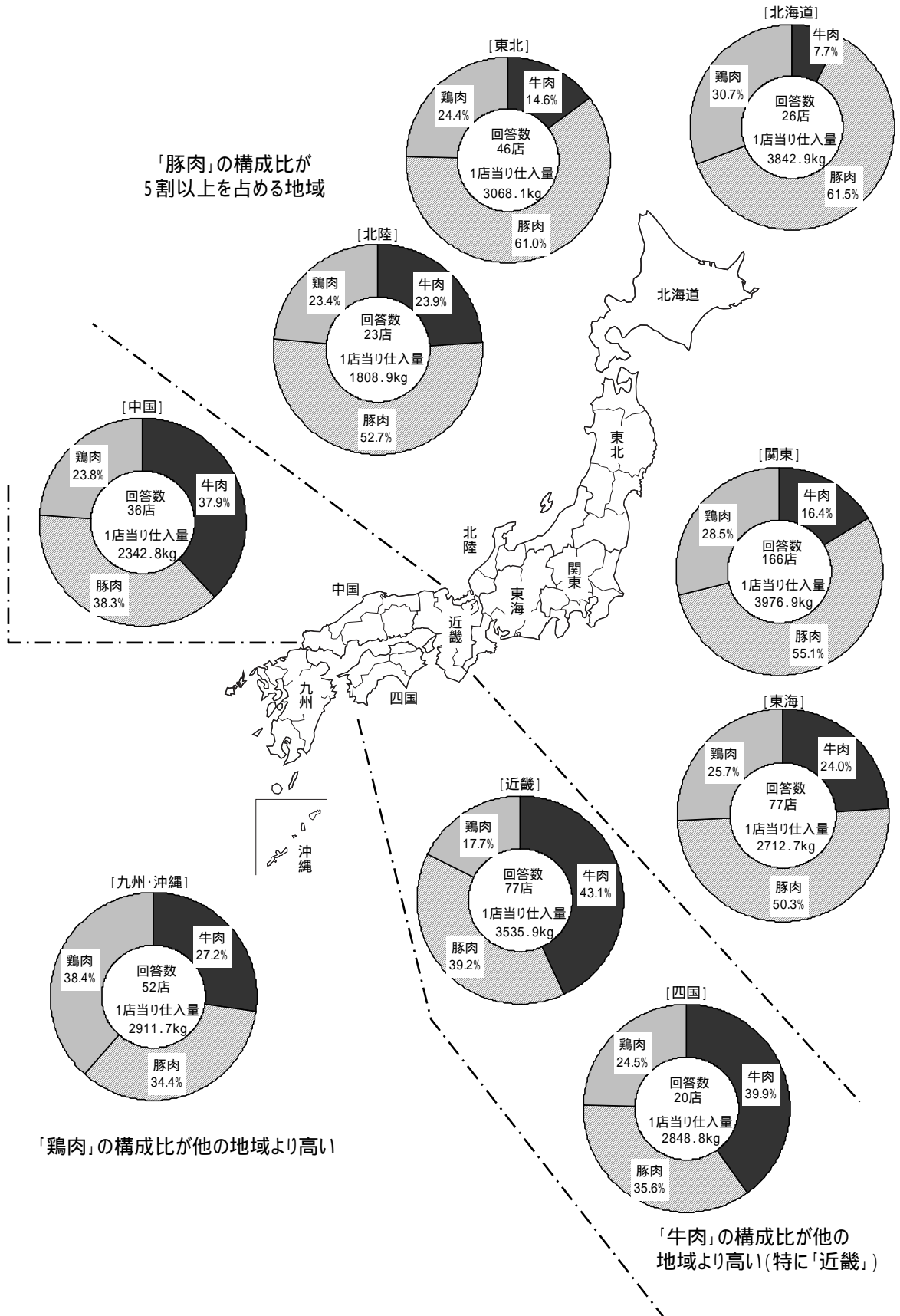
[前回調査との比較]

地域別の仕入構成比を前回調査と比較すると(図2-3)、地域それぞれに変化がみられるが、大都市圏の「関東」「近畿」で「牛肉」の比率が低下し、「豚肉」が上昇している。



Nは各地域の合計仕入量

図2-4: 地域別・肉種別 / 仕入構成比(10月分)

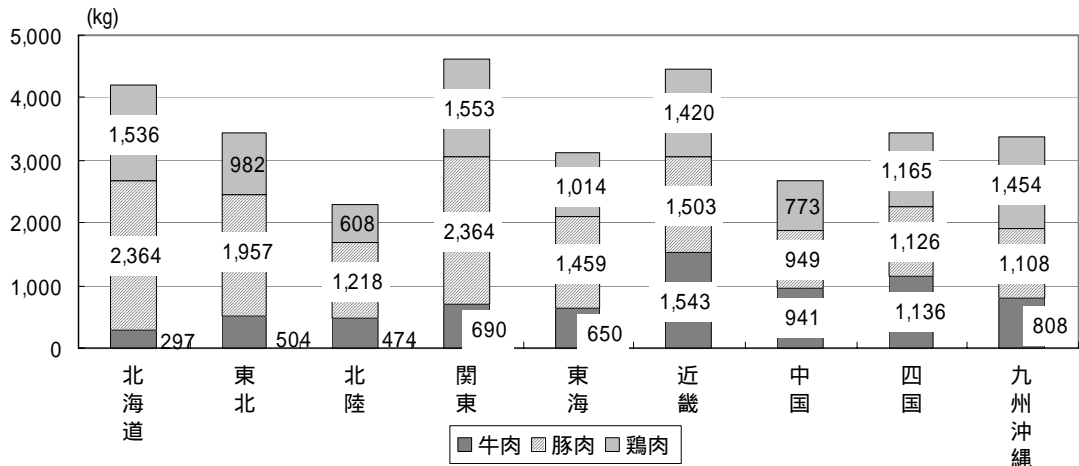


各地域の円グラフ内の1店当り仕入量は、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれかの食肉を仕入れた店舗数での平均値

「牛肉」は近畿、「豚肉」は北海道と関東での仕入れ量が多い

地域別・肉種別の1店当り仕入量は(図2-5)、「関東」「近畿」の大都市圏の仕入れ量が多くなっている。肉種別に1店当り仕入量をみると、「牛肉」の仕入量は、「近畿」が1,543kgと全国の中で最も多く、「豚肉」は「北海道」と「関東」で2,000kg以上と多くなっている。

図2-5:地域別・肉種別 / 1店当り仕入量(10月分)



鶏肉	20店	35店	16店	121店	53店	34店	26店	12店	40店
豚肉	26店	44店	18店	154店	72店	71店	34店	18店	47店
牛肉	26店	41店	21店	157店	77店	76店	34店	20店	51店
(N)	北海道	東北	北陸	関東	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄

上記の「地域別・肉種別 / 1店当り仕入量」は、それぞれの肉種別に当該肉種を仕入れた店舗数での平均であるため、各肉種の仕入量を合計しても「図2-4:地域別・肉種別 / 仕入構成比」で示した1店当り仕入量とはならない

2. 牛肉の仕入構成と仕入量(10月分)

(1) 牛肉の品種別仕入構成

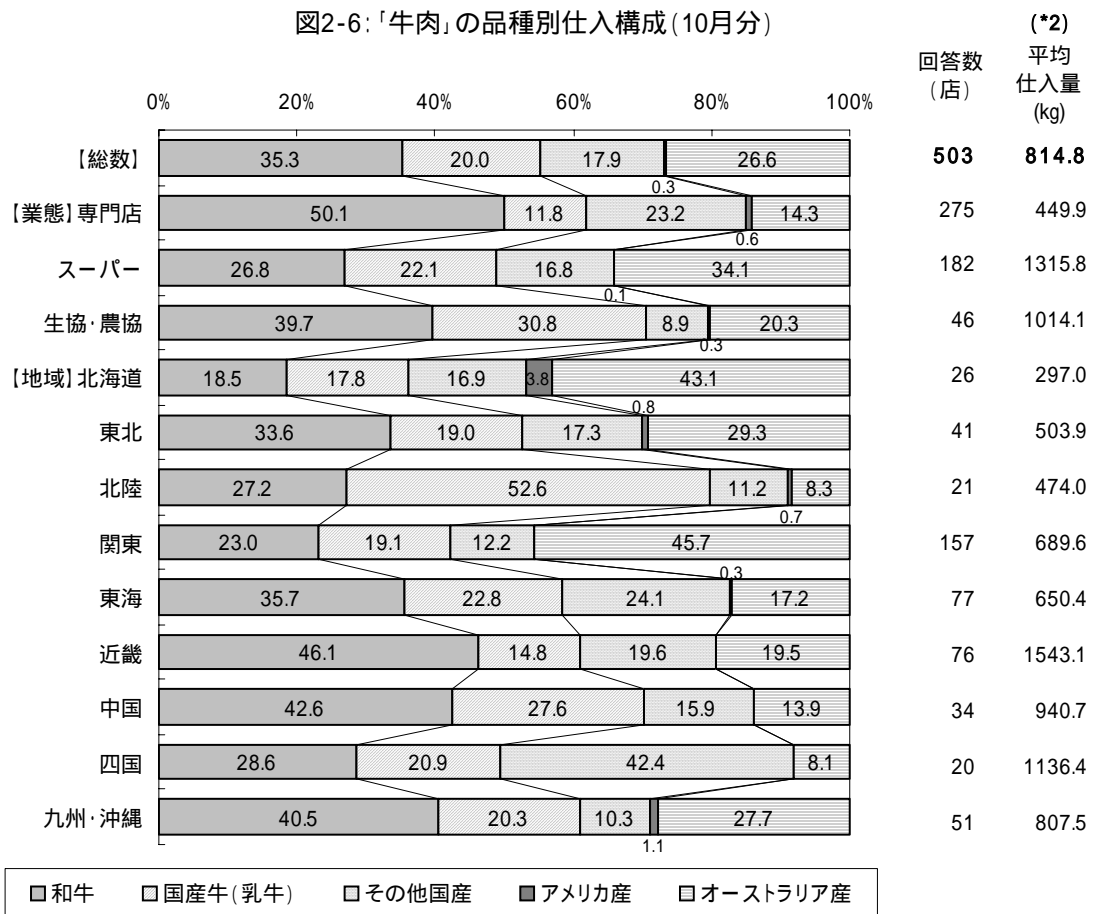
前回調査と比べ、「和牛肉」の仕入構成比が大きく減少し、「オーストラリア産牛肉」が大幅に増加

牛肉の品種別仕入構成は、図2-6に示した通りで、「和牛肉」が35.3%、「国産乳牛肉」が20.0%、「その他国産牛肉」が17.9%、「アメリカ産牛肉」が0.3%、「オーストラリア産牛肉」が26.6%となっている。

業態別にみると、「専門店」は「和牛肉」が50.1%と多くを占め、次いで「その他国産牛肉」が23.2%で続く。「スーパー」は「和牛肉」が26.8%と他の業態に比べて低く、「オーストラリア産牛肉」が34.1%で最も多くを占めている。「生協・農協」は、「和牛肉」が39.7%、「国産乳牛肉」が30.8%で、この2品種の仕入が多い。

地域別では、「近畿」で「和牛肉」の構成比が46.1%と多くを占める。また、「関東」では、「オーストラリア産牛肉」が45.7%と多くを占めている。

図2-6: 「牛肉」の品種別仕入構成(10月分)



Nはそれぞれの合計仕入量(kg)

(*2) 平均仕入量は、牛肉品種のいずれか(和牛肉、国産乳牛肉、その他国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉)を仕入れた店舗数での平均であるため、以降の(2) ~ に示す品種別の平均仕入量(当該品種を仕入れた店舗数での平均)の合計値とはならない

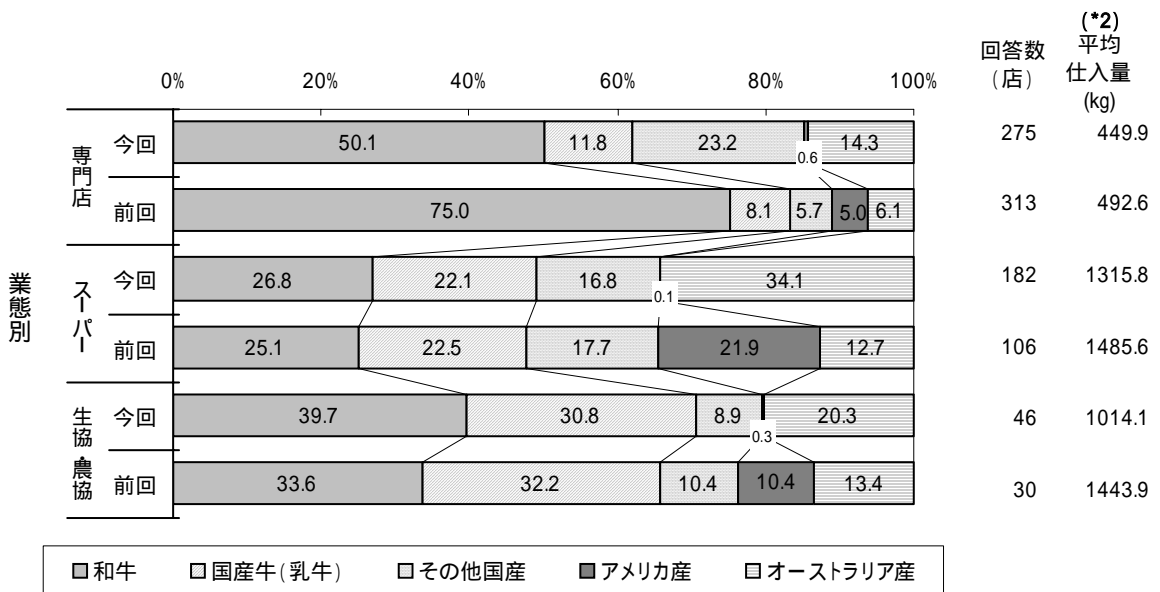
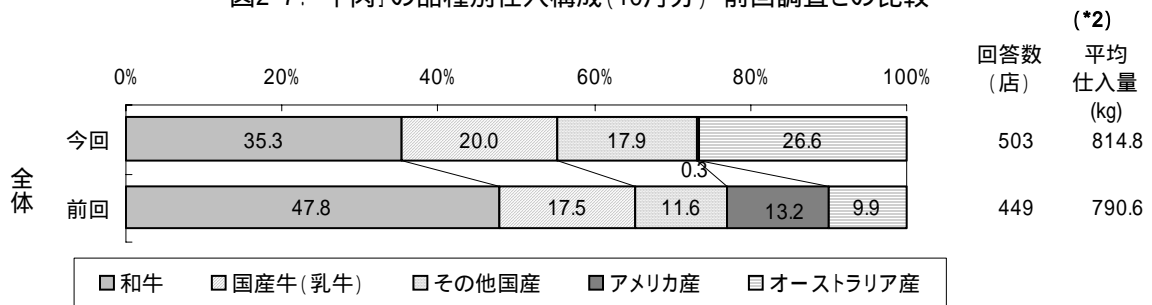
[前回調査との比較]

「牛肉」の品種別仕入構成比を前回調査と比較すると(図2-7)、「和牛肉」が前回：47.8%から今回：35.3%と減少しているほか、輸入禁止措置がとられている「アメリカ産牛肉」も前回：13.2%から今回：0.3%に大きく減少している。

相対的に仕入構成比が増加しているのが「オーストラリア産牛肉」で、前回：9.9%から今回：26.6%と16.7ポイントの大幅な増加となっている。

業態別でみると、「専門店」での「和牛肉」の減少、「スーパー」での「オーストラリア産牛肉」の増加が目立つ。

図2-7:「牛肉」の品種別仕入構成(10月分)・前回調査との比較



Nはそれぞれの合計仕入量(kg)

(*2) 平均仕入量は、牛肉品種のいずれか(和牛肉、国産乳牛肉、その他国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉)を仕入れた店舗数での平均であるため、以降の(2) ~ に示す品種別の平均仕入量(当該品種を仕入れた店舗数での平均)の合計値とはならない

(2) 品種別にみる牛肉の仕入形態

和牛肉(図2-8、表2-9)

「専門店」は、仕入量の4割が「枝肉」での仕入。平均仕入量は近畿以西で多くなっている

「和牛肉」の1店当りの平均仕入量は349.4kgで、そのうち「枝肉」の形態での仕入量が33.1%、「部分肉パーツ」が32.8%、「部分肉セット」が31.7%を占め、「コンシューマーパック」での仕入は2.3%と少ない。

業態別にみると、「専門店」は「枝肉」の仕入量が40.1%と多い。「スーパー」「生協・農協」は「部分肉セット」と「部分肉パーツ」がそれぞれ3割強～4割弱を占め、「専門店」に比べ「枝肉」での仕入は少ない。

地域別の平均仕入量をみると、「近畿」の仕入量が771.8kgで最も多く、また「枝肉」での仕入量が44.0%と高い。「関東」は、「部分肉セット」「部分肉パーツ」がそれぞれ35～38%程を占めるほか、「自社製造コンシューマーパック」が6.8%と他の地域に比べて高くなっている。また、平均仕入量は北部の地域に比べて「近畿」以西の地域で多い。

図2-8:「和牛肉」の形態別仕入量構成比(10月分)

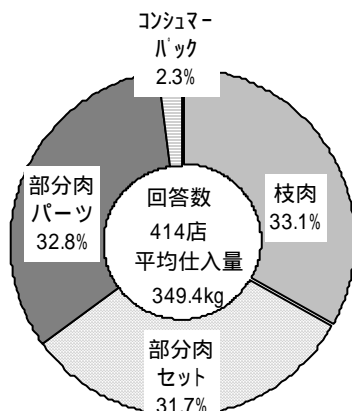


表2-9:業態別・地域別の「和牛肉」の形態別仕入量と構成比(10月分)

	総仕入量 (kg)	平均仕入量 (kg)	回答数 (店)	形態別仕入量構成比				
				枝肉 (%)	部分肉 セット (%)	部分肉 パ-ツ (%)	他社仕入 コンシューマ- パ-ツ (%)	自社製造 コンシューマ- パ-ツ (%)
総数	144,662	349.4	414	33.1	31.7	32.8	0.2	2.1
業態別								
専門店	62,036	270.9	229	40.1	26.7	31.8	0.2	1.2
スーパー	64,107	424.5	151	29.2	34.3	32.9	0.3	3.3
生協・農協	18,520	544.7	34	22.9	39.7	35.9	0.0	1.4
地域別								
北海道	1,425	95.0	15	0.0	50.1	48.8	0.0	1.1
東北	6,940	247.8	28	41.6	28.0	30.4	0.0	0.0
北陸	2,713	208.7	13	8.1	53.9	36.5	1.5	0.0
関東	24,863	191.3	130	20.1	38.2	35.0	0.0	6.8
東海	17,872	266.8	67	40.9	23.7	33.3	0.0	2.1
近畿	54,023	771.8	70	44.0	21.9	33.0	0.1	1.1
中国	13,640	454.7	30	13.5	46.0	38.7	0.7	1.1
四国	6,490	360.5	18	60.1	26.5	13.4	0.0	0.0
九州・沖縄	16,697	388.3	43	17.8	49.4	30.1	0.9	1.7

平均仕入量は、「和牛肉」を仕入れた店舗の平均値。「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算

国産乳牛肉(図2-10、表2-11)

いずれの業態も「部分肉パーツ」での仕入が多いが、「専門店」では「枝肉」の仕入も3割以上を占める

「国産乳牛肉」の1店当りの平均仕入量は316.3kgで、そのうち「部分肉パーツ」の形態での仕入量が47.3%、「部分肉セット」が30.5%を占める。「和牛肉」と異なり、「枝肉(15.1%)」での仕入は少ない。「コンシューマーパック」は7.1%である。

業態別にみると、いずれも「部分肉パーツ」の仕入量が多くを占めているが、「専門店」は「枝肉」の比率が34.3%と他の業態に比べて高く、「部分肉セット」「自社製造コンシューマーパック」での仕入が少ない。

地域別にみても、全体的に「部分肉パーツ」の比率が高くなっているが、「関東」では「自社製造コンシューマーパック」が20.7%と他の地域に比べ高い比率を示している。

図2-10:「国産乳牛肉」の形態別仕入量構成比(10月分)

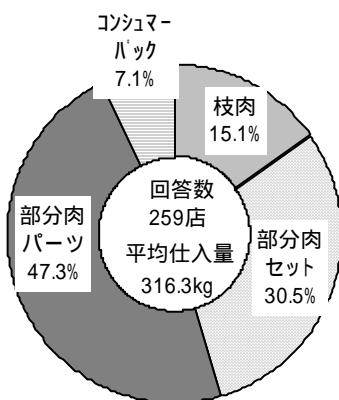


表2-11:業態別・地域別の「国産乳牛肉」の形態別仕入量と構成比(10月分)

	総仕入量 (kg)	平均仕入量 (kg)	回答数 (店)	形態別仕入量構成比				
				枝肉 (%)	部分肉 セット (%)	部分肉 ハ'ツ (%)	他社仕入 コンシューマ ーハ'ック (%)	自社製造 コンシューマ ーハ'ック (%)
総数	81,909	316.3	259	15.1	30.5	47.3	0.8	6.3
業態別								
専門店	14,549	147.0	99	34.3	14.7	50.3	0.7	0.1
スーパー	52,973	420.4	126	11.8	31.6	47.8	0.9	7.9
生協・農協	14,387	423.2	34	8.0	42.2	42.5	0.6	6.8
地域別								
北海道	1,375	114.6	12	0.0	53.7	45.2	0.0	1.1
東北	3,916	186.5	21	5.3	37.3	57.4	0.0	0.0
北陸	5,233	402.5	13	10.4	16.3	73.3	0.0	0.0
関東	20,691	243.4	85	2.7	36.1	38.9	1.7	20.7
東海	11,395	356.1	32	32.5	21.1	45.2	0.7	0.5
近畿	17,348	559.6	31	29.9	19.1	46.1	0.2	4.7
中国	8,835	401.6	22	12.5	39.6	47.9	0.0	0.0
四国	4,760	476.0	10	17.6	31.5	50.8	0.0	0.0
九州・沖縄	8,358	253.3	33	3.1	44.4	50.4	2.2	0.0

平均仕入量は、「国産乳牛肉」を仕入れた店舗の平均値。「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算

その他国産牛肉(図2-12、表2-13)

「専門店」「生協・農協」は「部分肉セット」、「スーパー」では「部分肉パーツ」の仕入量が多い

「その他国産牛肉」の1店当りの平均仕入量は393.8kgで、そのうち「部分肉セット」での仕入量が43.9%、「部分肉パーツ」が35.5%、「枝肉」が19.0%となっている。「コンシューマーパック」での仕入は1.6%ときわめて少ない。

業態別にみると、「スーパー」は、「部分肉パーツ」での仕入量が最も多いが、「専門店」「生協・農協」では「部分肉セット」が多くを占めている。

地域別は、回答数が10店に満たない地域もあるため地域特性を比較することはできないが、比較的回答数が多い「関東」をみると、「部分肉セット」が46.0%で最も多くなっている。

図2-12:「その他国産牛肉」の形態別仕入量構成比(10月分)

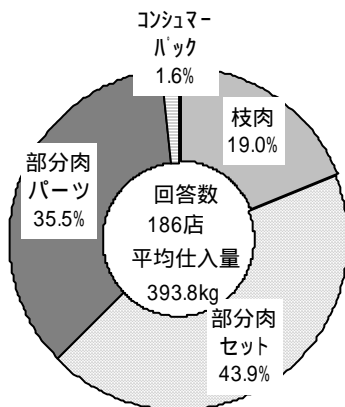


表2-13:業態別・地域別の「その他国産牛肉」の形態別仕入量と構成比(10月分)

	総仕入量 (kg)	平均仕入量 (kg)	回答数 (店)	形態別仕入量構成比				
				枝肉 (%)	部分肉 セット (%)	部分肉 ハーツ (%)	他社仕入 コンシューマ- パック (%)	自社製造 コンシューマ- パック (%)
総数	73,248	393.8	186	19.0	43.9	35.5	0.4	1.2
業態別								
専門店	28,747	346.3	83	22.8	50.1	26.7	0.3	0.0
スーパー	40,342	480.3	84	16.8	39.7	42.2	0.3	1.0
生協・農協	4,160	218.9	19	15.1	40.5	30.9	2.4	11.1
地域別								
北海道	1,307	145.2	9	0.0	38.5	61.5	0.0	0.0
東北	3,580	358.0	10	66.8	17.7	15.4	0.0	0.0
北陸	1,114	185.7	6	51.3	41.6	7.2	0.0	0.0
関東	13,230	224.2	59	10.1	46.0	39.9	0.1	3.9
東海	12,069	389.3	31	35.7	30.7	32.8	0.8	0.0
近畿	22,985	957.7	24	3.3	54.1	42.6	0.0	0.0
中国	5,076	298.6	17	29.2	8.9	52.8	2.0	7.1
四国	9,639	1,204.9	8	28.3	53.5	18.2	0.0	0.0
九州・沖縄	4,248	193.1	22	8.6	63.3	25.8	2.4	0.0

平均仕入量は、「その他国産牛肉」を仕入れた店舗の平均値。「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算

アメリカ産牛肉(図2-14、表2-15)

「部分肉パーツ」での仕入が75.6%(但し、回答数は19店)

「アメリカ産牛肉」の1店当りの平均仕入量は62.9kgである。但し、輸入禁止の状況にあるため、回答数は19店と少ない。仕入形態は、「部分肉パーツ」の形態での仕入量が75.6%と多くを占める。

業態別・地域別の仕入形態については、回答数が少ないため、コメントはできないが、あくまでも参考として詳細(表2-15)を掲載した。

図2-14:「アメリカ産牛肉」の形態別仕入量構成比(10月分)

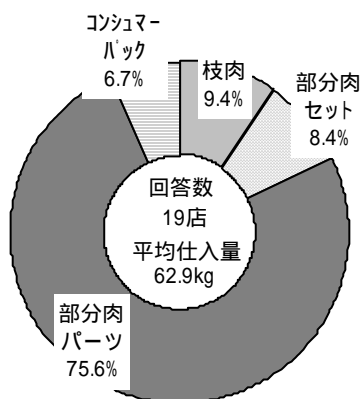


表2-15:業態別・地域別の「アメリカ産牛肉」の形態別仕入量と構成比(10月分)

	総仕入量 (kg)	平均仕入量 (kg)	回答数 (店)	形態別仕入量構成比				
				枝肉 (%)	部分肉 セット (%)	部分肉 ハック (%)	他社仕入 コンシューマー ハック (%)	自社製造 コンシューマー ハック (%)
総数	1,195	62.9	19	9.4	8.4	75.6	6.7	0.0
業態別								
専門店	745	62.1	12	0.9	13.4	78.9	6.7	0.0
スーパー	320	64.0	5	32.8	0.0	67.2	0.0	0.0
生協・農協	130	65.0	2	0.0	0.0	76.9	23.1	0.0
地域別								
北海道	290	72.5	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
東北	167	41.8	4	67.1	0.0	32.9	0.0	0.0
北陸	65	65.0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
関東	23	23.0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
東海	130	65.0	2	0.0	0.0	76.9	23.1	0.0
近畿	50	50.0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
中国	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
四国	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
九州・沖縄	470	78.3	6	0.0	21.3	68.1	10.6	0.0

平均仕入量は、「アメリカ産牛肉」を仕入れた店舗の平均値。 「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算

オーストラリア産牛肉(図2-16、表2-17)

いずれの業態も「部分肉パーツ」での仕入が大半を占める

「オーストラリア産牛肉」の1店当りの平均仕入量は425.2kgで、そのうち「部分肉パーツ」の形態での仕入量が62.6%を占める。次いで、「コンシューマーパック」が18.9%、「部分肉セット」が16.6%で続く。

業態別にみても、いずれも「部分肉パーツ」が多くを占めているが、「専門店」では「部分肉セット」、「スーパー」では「自社製造コンシューマーパック」も比較的多い。

地域別にみても、「四国」を除く地域で「部分肉パーツ」での仕入が大半を占める。

図2-16:「オーストラリア産牛肉」の形態別仕入量構成比(10月分)

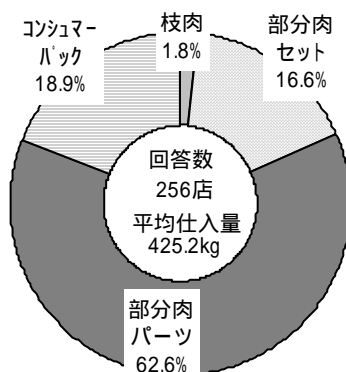


表2-17:業態別・地域別の「オーストラリア産牛肉」の形態別仕入量と構成比(10月分)

	総仕入量 (kg)	平均仕入量 (kg)	回答数 (店)	形態別仕入量構成比				
				枝肉 (%)	部分肉 セット (%)	部分肉 パ-ツ (%)	他社仕入 コンシューマ- パ-ツ (%)	自社製造 コンシューマ- パ-ツ (%)
総数	108,840	425.2	256	1.8	16.6	62.6	2.4	16.5
業態別								
専門店	17,650	212.7	83	4.3	33.1	61.2	1.4	0.0
スーパー	81,737	556.0	147	1.5	14.1	60.7	2.8	20.9
生協・農協	9,453	363.6	26	0.0	8.3	81.5	0.6	9.6
地域別								
北海道	3,325	166.3	20	0.0	10.2	88.6	1.2	0.0
東北	6,060	252.5	24	0.1	5.0	94.7	0.2	0.0
北陸	830	69.2	12	1.1	12.0	86.9	0.0	0.0
関東	49,463	650.8	76	1.1	17.7	43.0	2.0	36.1
東海	8,612	253.3	34	5.3	12.8	81.2	0.0	0.7
近畿	22,869	693.0	33	3.8	21.9	69.5	4.5	0.2
中国	4,433	277.1	16	0.0	2.2	92.9	4.9	0.0
四国	1,838	183.8	10	0.8	54.4	44.8	0.0	0.0
九州・沖縄	11,410	368.1	31	0.5	12.1	84.7	2.7	0.0

平均仕入量は、「オーストラリア産牛肉」を仕入れた店舗の平均値。「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算

3. 豚肉の仕入構成と仕入量(10月分)

(1) 豚肉の品種別仕入構成

「国産豚肉」の仕入構成比が87%を占める。前回調査と比べても構成比の大きな変化はない

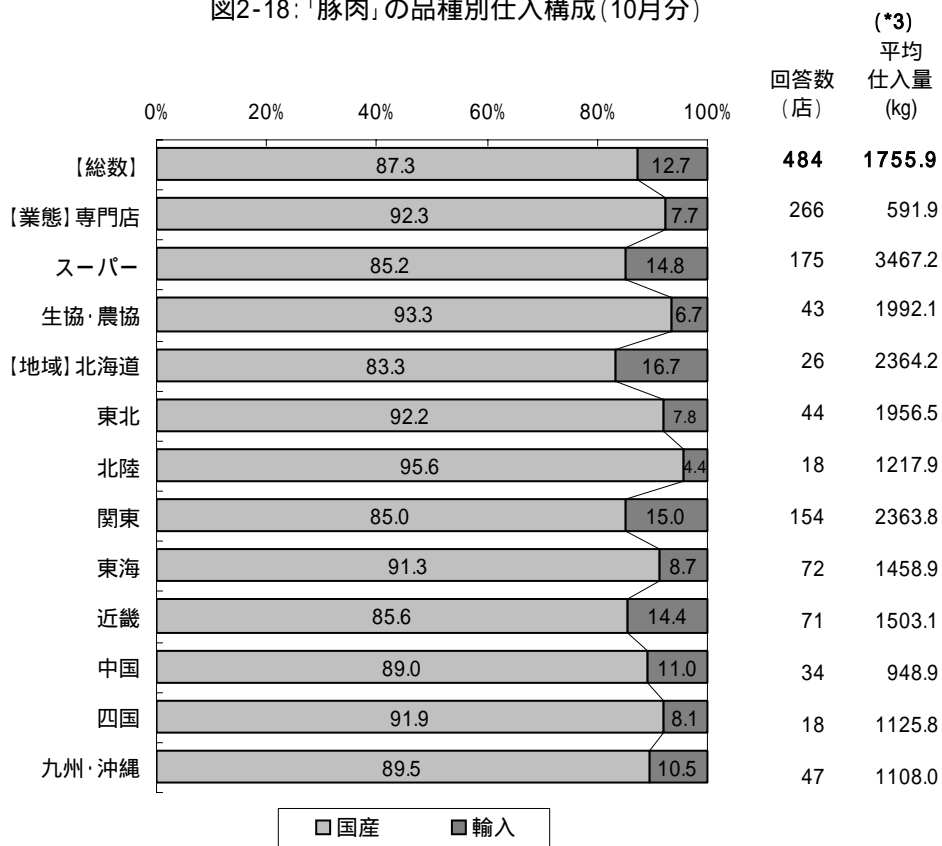
豚肉の品種別仕入構成は、図2-18に示した通りで、「国産豚肉」が87.3%、「輸入豚肉」が12.7%を占める。

業態別・地域別にみても、「国産豚肉」が大半を占めているが、3業態の中では「スーパー」で「輸入豚肉」の比率が14.8%とやや高くなっている。

[前回調査との比較]

「豚肉」の品種別仕入構成比の前回調査との比較を図2-19に示したが、全体・業種別ともに大きな変化はみられない。

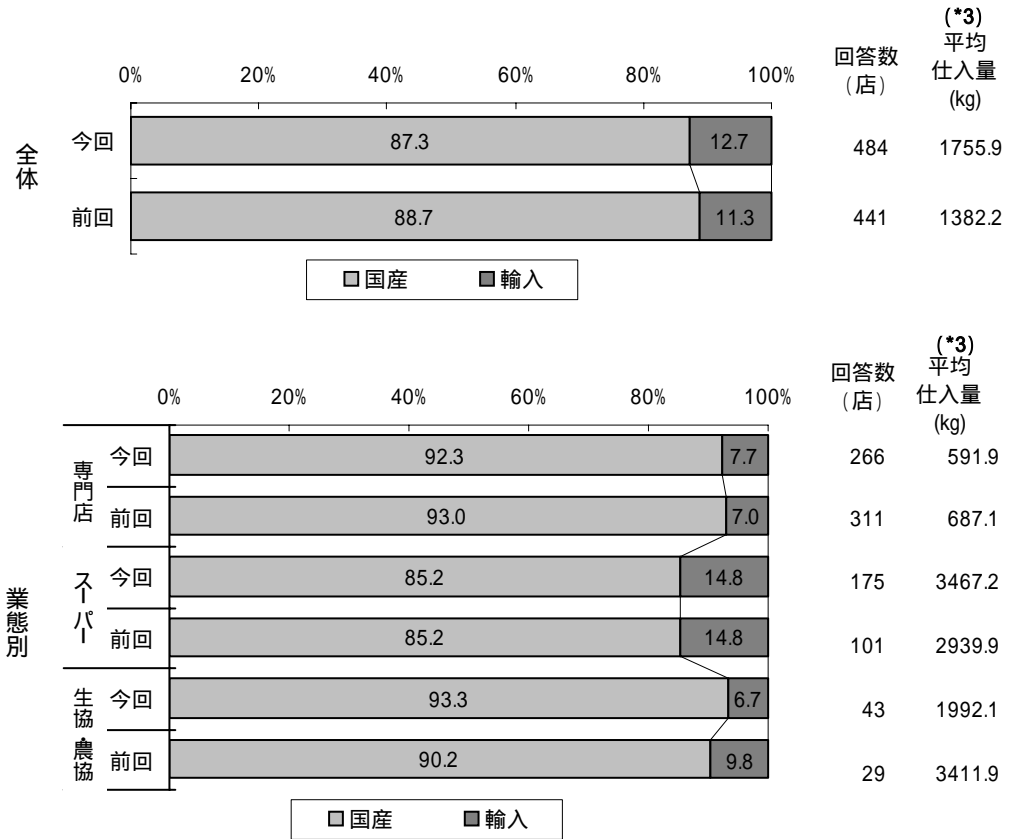
図2-18: 「豚肉」の品種別仕入構成(10月分)



Nはそれぞれの合計仕入量(kg)

(*3)平均仕入量は、豚肉品種のいずれか(国産豚肉、輸入豚肉)を仕入れた店舗数での平均であるため、以降の(2) ~ に示す品種別の平均仕入量(当該品種を仕入れた店舗数での平均)の合計値とはならない

図2-19:「豚肉」の品種別仕入構成(10月分)・前回調査との比較



Nはそれぞれの合計仕入量(kg)

(*3)平均仕入量は、豚肉品種のいずれか(国産豚肉、輸入豚肉)を仕入れた店舗数での平均であるため、以降の(2) ~ に示す品種別の平均仕入量(当該品種を仕入れた店舗数での平均)の合計値とはならない

(2) 品種別にみる豚肉の仕入形態

国産豚肉(図2-20、表2-21)

「専門店」は「枝肉」、「スーパー」「生協・農協」では「部分肉パーツ」の仕入量が最も多い

「国産豚肉」の1店当りの平均仕入量は1,536.6kgで、そのうち「部分肉パーツ」が39.7%で最も多い。次いで、「部分肉セット」が28.5%、「コンシューマーパック」は17.3%、「枝肉」が14.5%で続く。

業態別にみると、「専門店」は「枝肉」の仕入量が41.7%と多くを占め、「部分肉パーツ」は34.7%である。「スーパー」は「部分肉パーツ」が38.3%、「部分肉セット」が30.4%を占めるほか、「自社製造コンシューマーパック」が21.8%と他の業態に比べて多く、仕入形態が多様である。「生協・農協」は、「部分肉パーツ」が57.9%と多い。

地域別にみると、「部分肉セット」または「部分肉パーツ」の比率が高い地域が多いが、「関東」では「自社製造コンシューマーパック」が37.2%と他の地域に比べて特に多くなっている。

図2-20:「国産豚肉」の形態別仕入量構成比(10月分)

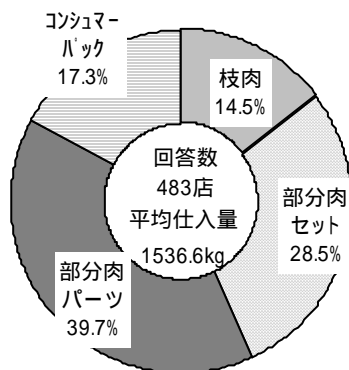


表2-21:業態別・地域別の「国産豚肉」の形態別仕入量と構成比(10月分)

	総仕入量 (kg)	平均仕入量 (kg)	回答数 (店)	形態別仕入量構成比				
				枝肉 (%)	部分肉 セット (%)	部分肉 ハーツ (%)	他社仕入 コンシューマ- ハーツ (%)	自社製造 コンシューマ- ハーツ (%)
総数	742,165	1,536.6	483	14.5	28.5	39.7	1.1	16.2
業態別								
専門店	145,274	548.2	265	41.7	22.7	34.7	0.4	0.5
スーパー	516,994	2,954.3	175	8.4	30.4	38.3	1.1	21.8
生協・農協	79,898	1,858.1	43	4.3	27.1	57.9	2.3	8.4
地域別								
北海道	51,233	1,970.5	26	2.9	37.3	59.7	0.0	0.1
東北	79,376	1,804.0	44	22.9	37.9	39.2	0.0	0.0
北陸	20,957	1,164.3	18	13.8	43.9	42.2	0.0	0.0
関東	309,409	2,009.1	154	12.0	26.8	22.5	1.5	37.2
東海	95,874	1,350.3	71	27.2	30.9	38.8	1.9	1.1
近畿	91,391	1,287.2	71	14.6	7.8	72.9	0.9	3.7
中国	28,700	844.1	34	5.5	38.9	50.9	1.7	3.0
四国	18,624	1,034.7	18	16.1	29.7	54.1	0.0	0.0
九州・沖縄	46,602	991.5	47	7.7	36.4	55.6	0.3	0.0

平均仕入量は、「国産豚肉」を仕入れた店舗の平均値。「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算

輸入豚肉(図2-22、表2-23)

「部分肉パーツ」の仕入が中心であるが、「スーパー」では「自社製造コンシューマーパック」も28%を占める

「輸入豚肉」の1店当りの平均仕入量は515.3kgで、そのうち「部分肉パーツ」での仕入量が67.7%と最も多くを占める。「コンシューマーパック」は25.5%で、「部分肉セット(4.7%)」と「枝肉(2.2%)」は少ない。

業態別にみると、すべての業態で「部分肉パーツ」の仕入量が最も多い。その中で「スーパー」は「自社製造コンシューマーパック」が28.1%と比較的多くを占めている。

地域別でも、「部分肉パーツ」の仕入量が大半を占める地域が多い。但し、「国産豚肉」と同様に、「関東」では「自社製造コンシューマーパック」が最も多く、46.9%を占める。

図2-22:「輸入豚肉」の形態別仕入量構成比(10月分)

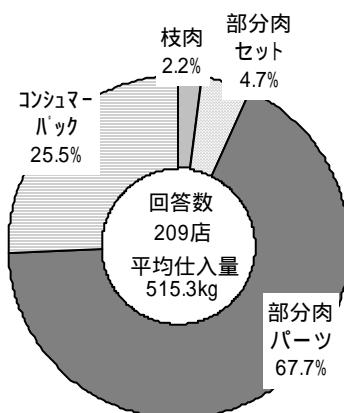


表2-23:業態別・地域別の「輸入豚肉」の形態別仕入量と構成比(10月分)

	総仕入量 (kg)	平均仕入量 (kg)	回答数 (店)	形態別仕入量構成比				
				枝肉 (%)	部分肉 セット (%)	部分肉 ハーツ (%)	他社仕入 コンシューマー パック (%)	自社製造 コンシューマー パック (%)
総数	107,705	515.3	209	2.2	4.7	67.7	1.6	23.9
業態別								
専門店	12,168	209.8	58	6.9	12.6	80.0	0.4	0.0
スーパー	89,775	701.4	128	1.4	3.7	65.9	0.9	28.1
生協・農協	5,762	250.5	23	4.9	3.8	69.4	14.1	7.9
地域別								
北海道	10,237	465.3	22	0.0	7.6	92.3	0.1	0.0
東北	6,710	447.3	15	4.2	3.0	92.8	0.0	0.0
北陸	965	193.0	5	20.3	0.0	79.7	0.0	0.0
関東	54,619	867.0	63	2.5	4.6	45.5	0.4	46.9
東海	9,169	295.8	31	5.4	1.2	84.6	8.7	0.1
近畿	15,331	547.5	28	0.0	4.6	92.3	2.7	0.3
中国	3,561	254.4	14	0.0	0.0	94.4	5.6	0.0
四国	1,641	205.1	8	0.0	31.1	68.9	0.0	0.0
九州・沖縄	5,472	237.9	23	0.0	4.7	94.4	0.9	0.0

平均仕入量は、「輸入豚肉」を仕入れた店舗の平均値。「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算

4. 鶏肉の仕入構成と仕入量(10月分)

(1) 鶏肉の品種別仕入構成

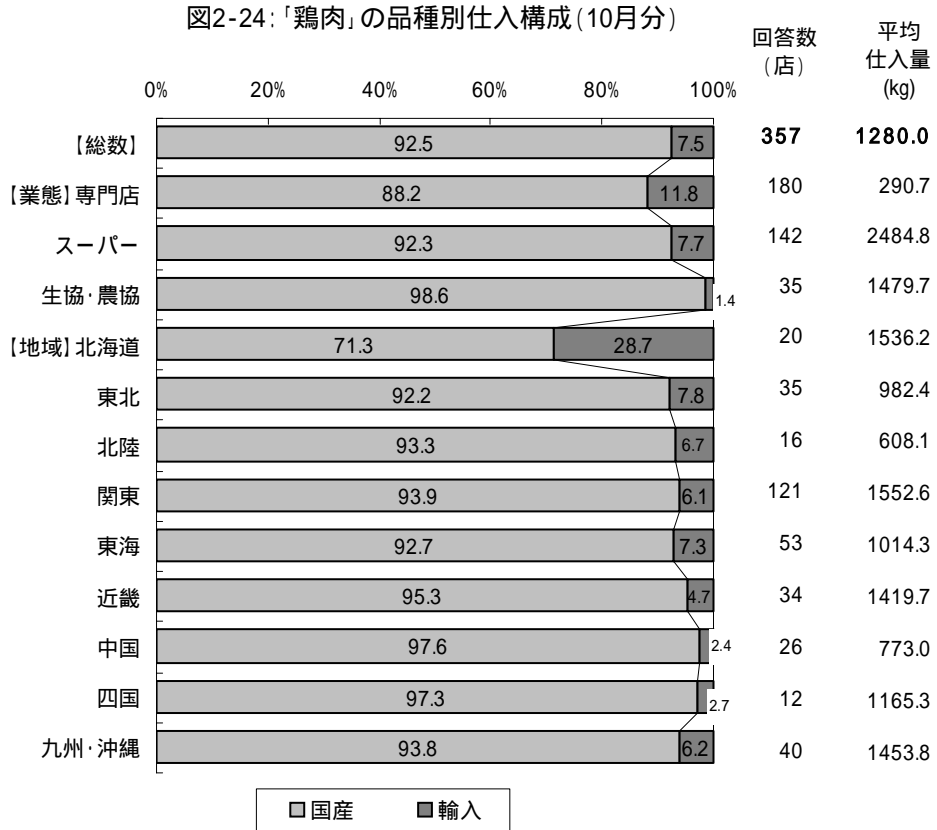
「国産鶏肉」が9割以上。前回調査時よりさらに「国産鶏肉」の比率が高まっている

鶏肉の品種別仕入構成は、図2-24に示した通りで、「国産鶏肉」が9割以上を占める。

業態別にみても、いずれも「国産鶏肉」が大半を占めているが、「輸入鶏肉」の比率は「専門店」で最も高く、1割強を占めている。

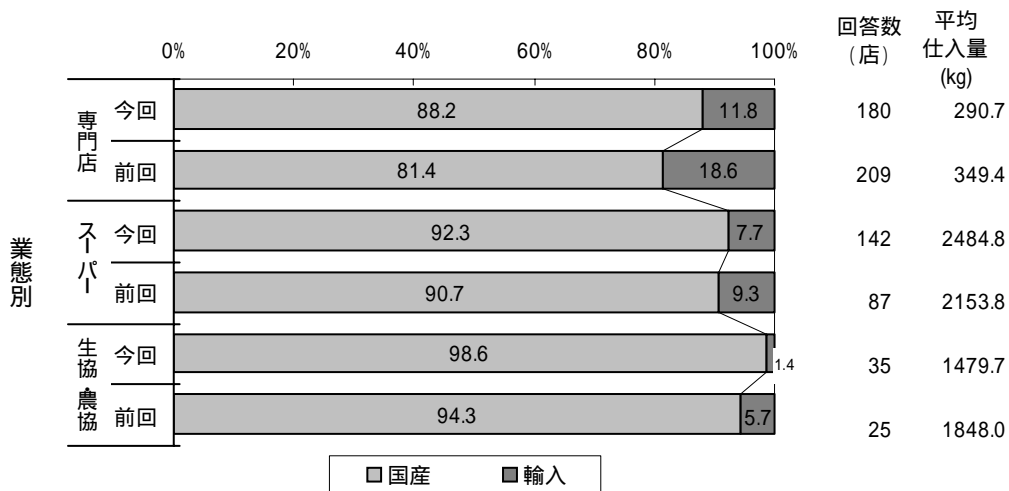
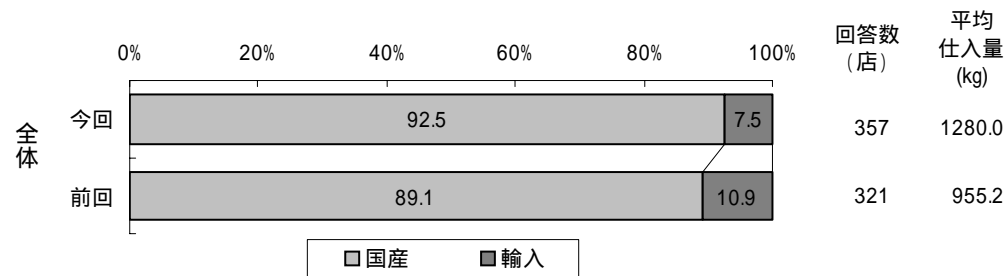
[前回調査との比較]

「鶏肉」の品種別仕入構成比の前回調査との比較を図2-25に示したが、全ての業態で前回調査に比べて「国産鶏肉」の比率が高まっている。



Nはそれぞれの合計仕入量(kg)

図2-25:「鶏肉」の品種別仕入構成(10月分)・前回調査との比較



Nはそれぞれの合計仕入量(kg)